植物研究雜誌 第二卷 第四號
大正九年一月十五日

○日本植物學界ノ世界ニ於ケル地位（承前）

牧野富太郎

第七ニハ今我日本ノ植物界ニハ中心トナルベキ資格ヲ具ヘタ人物ガナイ即チ統率ノ才能アル將帥ガナイ其レ故今日デハ我植物界ノ人々ハ皆銘々別々ニナッテ力ガ分レテ居ル所謂群雄割據ノ姿デアルカラ互ニ相協力シテ大キナ仕事ヲスルニ誠ニ都合ガ惡ルイ中ニハ成ベク世ノ中ト交渉アルヲ避ケテ餘リ植物學ノ事ヲ憂ヘヌ者モアルコンナ有樣デ日ヲ送ッテ居ルカラ書籍モ標品モ餘リ集マラナイノハ決シテ無理ハナイ又植物園ナドモ熱心ニ金ヲカケヌカラ餘リ發達ヲシナイ然ラバ何モカモ不足デ何事モシテ居ナイカト云フト決シテサウデハナイ矢張リ其レ相當ナ事ハシ又其レ相當ニ進歩モシテ居ル然シ我ガ植物學社會ノ狀態ガ前述ノ次第デアルカラ萬事ガ甘ク行カナイ我等ハドウシテモ我日本ノ植物學ヲ世界的ニセネバナラヌガソレニハ今六分通リノ處ヲ此上四分通リモ進メネバナラナイソシテ早ク世界ト同等ニナランコトヲ庶幾セネバナラヌケレドモ今日デハ前述ノ通リマダマダ不備ナ點ガ多イカラ何トモ致シ方ガナイ然シソレデハナラヌカラ吾人ハ今一層ノ奮發ト努力トヲセネバナラヌ次第デアル此ノ樣ニ一致協力シテヤラネバナラヌコトガ多イカラ同學者同士ハ皆仲ヨクシテ研究セネバナラヌ決シテ互ニ排斥スルコトガアッテハナラヌ自己ノ利害ヲ土臺トシテ他ノ熱心ニ研究シテ居ルモノヲ惡ルク言ッテ排シテハナラヌ又徒ニ自分ノ愛憎或ハ嫉妬ニヨリテ誠實ナル研究者ヲ窮地ニ陷イレテハナラヌ今日我邦デハ總體ニ植物學者ノ數ガ少ナイカラ一人デモ之レヲ排斥シ去レバソレハ取リモ直サズ我邦學問ノ能率ヲ殺グ

日本植物學界ノ世界ニ於ケル地位（承前）

モノデアッテ延イテ國家ノ損失ニ歸スルノデアル國家ノ損失ヲ顧ミナイモノハ愛國者デハナイノデアル

然シ此樣ニ後レテ居ル事ハ單ニ植物學方面バカリノコトデハナク其他ノ諸學科デモ矢張リ同樣ノ狀態デアリハシマイ歟ト想ハル丶ガ其中デモ我植物學ハ或ハ寧ロ割合ニ進ンデ居ル點ガアルカモ知レナイ一體物事ハ何ヲスルニモ先其到着點ヲ極メテ掛ラネバナラヌト同ジ樣ニ吾人ハ常ニ我日本ヲ世界ノ中心トスル樣ニ心掛ケサウ云フ考デ弛ミナク進ンデ行カネバナラナイ商人ハ百萬千萬ノ富ヲ作ルヲ理想トナシ農民ハ一反ノ田畑カラ成ルベク多量ノ米ナリ麥ナリ穫レルノヲ理想トシテ居ル此樣ニドンナ事ヘデモ理想ヲ持チ其理想ニ向ッテ突進スベキデアルコンナ事ハ口ニハ言ヒ易イガ實行ハ甚ダムツカシク其實行ニハ非常ナ努力ヲ要スル就中國ニ關スルコトナドハ其到着點即チ其理想ノ點マデニ達スルニハ實ニ一通リナラヌ努力ガ必要デアル之レヲ遂グルニハ少クモ利己ノ三分ノ二ハ國家ノ爲メニ犧牲ニスル位ノ覺悟ガナケレバナラナイ我日本ハ維新後學問ガ開ケテ五十年ニナル五十年ト云ヘバ隨分長イ月日デアルガ然シマダ今日ヤラナケレバナラナイ仕事ヲ澤山ニ殘シテ居ル其當ニヤラナケレバナラナイ仕事ヲ努力シテ仕遂ゲナケレバ決シテ歐米諸國ト對等ノ位置ニハナレナイ然シコンナ事ハ机上ノ空論デハトテモ駄目デアッテ必ズ實踐實行ヲ要スル今前ニ話シタ樣ニ日本ニハ世界カラノ標品モ少ナケレバ書籍モ少ナイ眞正ノ博物館モナケレバ具體セル植物園モナイト云フ情ケナイ有樣デアル尙進ンデ言ヘバ農業植物ノ根本調査研究モ園藝植物ノ根本調査研究ナドモ出來テ居ズ又人生ト深キ關係アル有用植物ノ充分ナ調査研究モ完全ナル成書モ出來テ居ナイ若シアッタトシタラ其レハ頗ル不完全ナモノタルニ過ギナイ私ニ取ッテハ御話スルノガ誠ニ恥カシイ次第デアルガ今其處ラニ幾ラモアルぺんぺんぐさ(なづな)、たんぽぽ、あかざ、はこべ、あざみナドノ普通ノ植物デサヘモ今日日本デハマダ模範トスベキ圖デサヘ缺ケテ居ルコンナコトデハ誠ニ仕方ガナイソレデアルカラ吾人ハ今日デハマダヤット出發點ニ立ッタバカリデアッテ前途ヲ見渡シテ見ルト誠ニ遼遠デ何モカモヤラナケレバナラナイモノガドレ程アルカ分ラナイ所謂日暮レテ路遠シノ感ガアル此ノ

如キ有様故東京ヨリ極手近カナ伊豆七島ノ様ナ處デサヘモ今ニ手ガ屆カナイデ其植物ハ全ク暗黒ノ裏ニ葬リ去ラレテ居ル様ナ有様デアル

先般我農商務省ノ役人ガ獨逸デ食用ニシテ居ル野草ノコトヲ書イタ一枚摺ノ表ヲ瑞西トカデヤット求メテ來テソレヲ飜譯シテ版ニシ世ニ出シタモノガアルガ我日本ニハ其レニ比スレバ幸ニモ疾クヨリモー少シ良イモノガ幾ラモアル我日本ノ草木デ或ハヒタシモノニシ或ハ汁ノミナドニスルモノナド頗ル多イ然シ現代ノ進歩シタ智識デ考究セラレタモノハ一ツモナイカラ新タニ我邦ノ然ルベキ學者ニ頼ンデ萬一ノ用意ノ為メ我日本産ノ草木ノ食ヘルモノヽ良圖ヲ拵ヘ解リ易イ解説ヲ加ヘ素人目ニモ判(ワカ)ル様ニシテ置ケバドレ程我邦人ニ利益ガアルカ知レナイ他日若シ食物ノ缺乏シタ場合ニハ此等ノモノガ早速ニ役ニ立ツノデアル然シ日本ノ有用植物デサヘモ今日其調査ハ尚不完全デアルカラ食物ニナル野外ノ草木ナドノ調査ハ固ヨリ充分ナル調ベハツイテ居ナイ農園ニ栽培シテ居ル植物ノ調査サヘモマダ固ヨリ充分デナク例ヘバ菜ノ種類ノ如キモ其一デアルガ假令書イタモノガアッタトシテモ其レハ固ヨリ粗雜ナモノデ外國ニ對シマダマダ遜色ガアル又學校用ノ掛圖ナドデモ歐洲ナドデハ既ニ五六十年前ニ出版シタモノデ立派ナモノガアルガ然シ日本デハ現時デサヘモソノ半分ノモノモ出來テ居ナイ

要スルニ我邦人ノナシタ植物學上ノ研究デ或ル特別ナモノハ西洋人ヲ驚カシタモノモアルガ然シ其レガ為メニ我日本ノ植物學ノ全體ガ歐米ノソレニ比ベテ優ッテ居ルト云フノデハ決シテナイ　（未完）

○植物家佛醫サヴァチエー氏ノ事蹟補遺 （本誌第一卷第九號參照）

在神奈川縣横須賀　千葉醫學專門學校醫學士　今井忠宗

【一】サヴァチエー氏ト日本植物學家